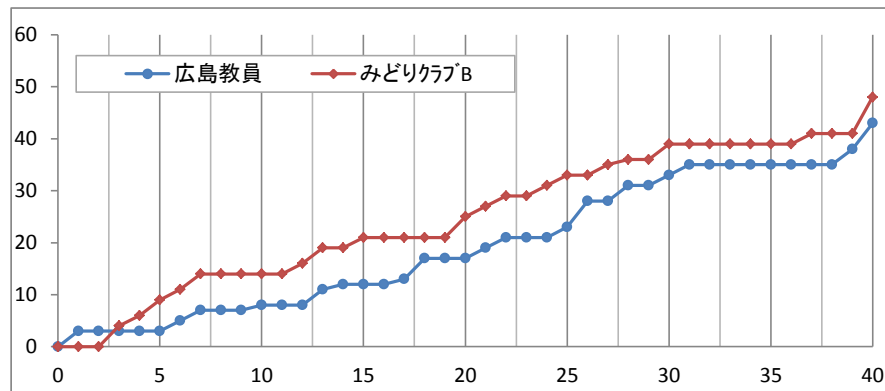


東日本大震災復興支援 第51回男子全日本教員バスケットボール選手権大会

男子2回戦	広島教員 43	8 - 14 9 - 11 16 - 14 10 - 9 —	48 みどりクラブB
主審 森田 将史	(広島県) ●		○ (兵庫県)
副審 松村 竹訓			

No. 12D-1 日時: 2013年8月12日(月) 10:00 会場: 長崎県立総合体育館Dコート



広島教員

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
0	* 大瀬 元貴	7	0	3	1	4	2	1
1	* 田中 亮暢	6	0	2	2	0	8	1
3	* 松尾 晋典	9	1	3	0	2	6	1
6	横田 学	—	—	—	—	—	—	—
12	小松 広道	—	—	—	—	—	—	—
15	* 市田 雅明 (C)	0	0	0	0	2	1	0
21	* 西尾 友貴	3	1	0	0	0	2	0
22	* 秋吉 秀哉	9	1	2	2	0	7	0
23	徳田 敬	—	—	—	—	—	—	—
29	中田 翔平	—	—	—	—	—	—	—
30	* 福島 泰治	5	0	2	1	3	6	1
31	崎家 岳	—	—	—	—	—	—	—
34	Cobra Jeremiah	—	—	—	—	—	—	—
77	* 小原 健太	3	0	1	1	3	5	2
91	* 北村 泰規	1	0	0	1	3	2	1
コーチ	松尾 晋典	—	—	—	—	0	—	—
合計		43	3	13	8	17	39	7

みどりクラブB

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
2	* 田中 慎太郎 (C)	20	0	6	8	1	10	2
3	吉川 暁宙	—	—	—	—	—	—	—
4	戸屋 龍介	—	—	—	—	—	—	—
22	正伝 裕介	2	0	1	0	1	3	1
23	* 大野 元気	6	2	0	0	0	3	0
31	* 参鍋 俊介	0	0	0	0	3	3	2
33	* 斉藤 誠	2	0	1	0	1	7	2
41	前川 朋寛	3	0	1	1	3	6	2
34	長田 達也	6	0	3	0	2	1	0
51	宇都宮 健二	—	—	—	—	—	—	—
67	* 加藤 達也	9	0	4	1	2	12	2
コーチ	戸屋 龍介	—	—	—	—	—	1	—
合計		48	2	16	10	14	45	11

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

2回戦、広島県対兵庫県(みどりクラブB)の対戦。両チームマンツーマンで始める。先制したのは広島#21の3P。しかし、広島はインサイドの要である#15が2度のオフェンスファウルで早々の交代となった。対して、兵庫は#22の外角のシュートや#2のジャンプシュート、速攻、#23の3Pで3-9とリードする。広島は開始5分でタイムアウトをとるが、兵庫の速い攻めから速攻や#67のバスケットカウントが決まり、8-14で1Q終了。2Q、両チーム激しいマンツーマンで無得点状態が続いたが、兵庫の速攻や#23の3Pで9-19となる。対する広島は残り5分から果敢にリバウンドやスピードあるドライブでファウルを誘い、フリースローを着実に決め、15-21と差を詰める。その後、お互い粘り強いディフェンスを行い、兵庫#33のブザービートで17-25の8点差で前半が終了した。

3Q、兵庫に選手登録のミスがあり、ベンチテクニカルで広島のフリースローから試合は開始された。攻守の切り替えがお互いに速く、得点の取り合いが続いたが、点差が縮まらない状態が続いた。残り4分、広島の#22のバスケットカウントとフリースローで28-33。兵庫は#41のインサイドを中心に攻め、広島のファウルが重なり、33-39で終了。最終Q、広島はオールコートディフェンスで6点差を追い、パスワークから1対1や合わせプレーを狙い、#22のゴール下シュートで4点差まで詰めよる。しかし、落ち着きを取り戻した兵庫が48-43で勝利を収めた。

記載者 峯 このみ (所属) 長崎県バスケットボール協会